

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 28 年 4 月 1 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ
団体名 キ ビ 吉備まちづくりの会
所在地 カイ
連絡先
フリガナ
代表者氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ☒ ア 地域課題解決 ☒ イ 地域課題掘り起し ☒ ウ 地域計画づくり ☐ エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	吉備まちづくり事業
事業実施区域 (小学校区)	概ね 吉備小学校区
事業 実 施 内 容	「安否確認カード」は好評で、多くの方が更新や新たに必要との申し出があったため、6000枚の増刷をした。 地元観光ボランティアによる観光マップ「歴史と文化の散歩道」A, B, C, D, Eの5コースを利用した散策が好評であった。 大賀ハス保存に関しては、月1回の清掃活動や講演会を行った。 無料防災出前講座は、本年度6回の依頼があり、地元に即した内容で開催している。 防災キャンプでは、陸前高田より語り部を招き、講演していただいた。 液状化実験装置を開発し、上道中学校で防災授業を行った。

事業目的とその達成状況と効果	ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況 安否確認カードでは災害時利用は当然ないが、高齢者の事故における利用で家族に迅速な連絡が取れた事例が2件報告されている。 観光マップにおいても散策の手本となるとの意見が多数よられている。 語り部による東北震災の状況を地域の方に知っていただく事が出来た。 液状化実験装置は、中学生でも液状化のメカニズムが良く分かれると先生方からも好評いただいた。 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等 高齢者の方が、熱中症や事故による突発的な事態になったとき、ご自分の自宅連絡が出来ない状態になる事があり、連絡手法の多様性が求められる。 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等 地域づくり計画等はない エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況 防災講座等により地域の防災組織を構築しようとしているが、いまだ構築できない。 オ その他⇒定めた目標の達成状況 など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。 液状化実験装置の開発は、計画当初には無かった課題であるが、防災講座を実施している過程で、一般にはあまり知られていない液状化のメカニズムが分かる実験装置の需要が発生した。その結果、中学校での防災授業で大きな成果を上げることができた。
企画などの工夫と情報公開	※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。 「歴史と文化の散歩道」は、地元の方に協力頂き、言い伝えや経緯にいたるまで細かく聞き取り調査を行い内容の充実した物に仕上げた。 液状化実験では、生徒が直接体験できるように、装置を工夫した。

次年度計画	※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。 次年度も引き続き同様の事業を引き継いで実施しようと考えている。 ただし、岡山市区づくり推進事業の在り方と、私たちの事業の実行に相違があると考えるので、事業申請は行わず、独自の事業として行う。
事業実施者としての評価・感想など	※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりをすすめることができたか、あるいは持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったかなど、本事業についての評価をご記入ください。 「安否確認カード」は、吉備学区にとどまらず、広く普及するように活動したい。 大賀ハス保存は、地元にも認知され大きな広がりになりそうである。 防災出前講座は、講師の方の教育も進み、5名の方が公演出来る体制となっている。 液状化体験授業では、先生から好評を得ている。今後もこの装置を用いて防災講座の充実を図る。

■収 支 決 算 書

◆収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	350,000	258,700	
実施団体負担金	0		
参加者負担金	80,000		
協賛金	120,000	50,000	吉備学区連合町内会
寄付、他収入	150,000	208,881	
計	700,000	517,581	

◆支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載してください)
消耗品費	50,000	6,882	インク、ごみ袋
食糧費	120,000	0	
印刷製本費	200,000	30,000	安否確認カード
通信運搬費	50,000	0	
手数料	10,000	0	
使用料	50,000	0	
原材料費	50,000	0	
委託料	0	357,739	液状化装置製作委託
報償費	100,000	49,800	語り部講師料
保険料	20,000	0	
旅費	50,000	73,160	講師旅費、宿泊費
計	700,000	517,581	

■事業実施にあたっての協働の状況

[illegible]

■事業実施経過

事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画会議	○											
準備・会議	○		○		○		○		○		○	
事業執行	毎大間以保存の要の清掃				7/1 防災			8/27 大賀公 保存龍海会				
〃 後処理			6/6 防災出前講座	6/16 防災出前講座	7/1 防災出前講座	8/23,25 防災出前講座	9/26 防災出前講座	10/1,10/29 防災出前教室			2/4 防災出前講座	3/4